



滋賀短期大学 学 報

2017. 6. 1

No. 81

CONTENTS

【学長メッセージ／P2】

【各学科長、役職教員からのメッセージ／P3～4】

【特集1／P5】

卒業証書・学位記授与式、卒業記念パーティー

【特集2／P6】

入学式、フレッシュマンセミナー、ほか

【新入職員・退職職員ごあいさつ／P7～8】

【Shiga・Tan・Information／P9】

同窓会だより、就職状況、資格取得状況 ほか

【実習報告／P10～11】

【学内情報／P12～16】

入試情報、短期大学行事等開催状況、
教育研究活動報告、図書館だより、公開講座 ほか



滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会
電話 (077) 524-3605
ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>





心の窓を 大きく開いて歩もう

滋賀短期大学学長 佐藤 尚武



今年度の入学式は、4月4日に本学の体育館で行われました。男子学生26名を含む321名の新入生を迎えています。本学は1970年に滋賀女子短期大学としてスタートしていますので、本年でもって47年目を迎えるに至っています。また、男女共学の短期大学に移行して9年目に入っています。創立以来、「心技一如」の建学の精神のもとに、人格教育と実学教育を両輪とする教育を推し進め、教養教育をベースに実践的な専門の知識と技術を培い、社会に貢献できる若い人たちの育成に努めています。

これまでの教育研究においては、教育の質的改善はいうまでもなく、学生への支援、とりわけ就職支援には力を注いでいます。ここ数年は、就職希望者のほぼ全員が仕事に就いている状況にあります。また、地域の自治体などとの連携による教育研究活動も広がっています。平成28年度には、私立大学等改革総合支援事業のタイプⅠ（教育の質的転換）とタイプⅡ（地域発展）において、ともに補助金を得ることができました。また、私立大学等経営強化集中支援事業においても補助金が得られました。これらの補助金の査定は、大学改革の進捗状況に関わる調査によることから、本学の教育の質的レベルや地域との連携レベルはある一定水準以上にあると評価されていることとなります。これまでの実学教育の伝統と実績を引き継ぎ、より堅実な教育研究のもとに、地域に根ざした短期大学として推し進めていきたいと念じています。

ところで、入学式でもふれましたように、新しい年度の学びに向き合うなかで、学生の皆さんに強調したいことがあります。短期大学ではどのように歩けばよいかなど、共通的な歩き方はありません。それぞれが自分の足で、試行錯誤しながら歩かないといけません。言い換えれば、自分で考え、自分で判断し、自分で行動するという、自立した歩みが求められています。少なくとも、自分の足で自分の道のりにある階段を上ります。その過程では、つまずいたり、こけたり、傷ついたりもします。苦勞することが出てきます。そうしたことによって、本

当の意味での生きる力を備えていくことになります。

本学での学びにおいては、自分で立つ「自立」とともに、自分を律する「自律」を意識していただきたいと願っています。これらは、実学を身につけるにあたって最も大切な心構えでもあるからです。その上で、心に留めてほしいことがあります。それは、「心の窓を大きく開いてほしい」ということです。私たちは、これまでに一人で生きてこれていませんし、これからもそうです。生涯にわたって、人との関わりのなかで生きていくことになります。人生で最も難しいのは、ひよっとすると、人との関わり方かもしれません。

私たちは、ややもすると、自己中心的な気持ちが強くなります。その結果、相手への思いやりを含めて、周りに対する配慮ができなくなります。この自己中心的な考え方が、心を狭くし、心を小さくし、そのことによって心の温かさを失ってしまうことになります。これに対して、大きい心の持ち主は、心の窓が大きく、自分の立っているところから周りを見渡すことができ、その見方が広がっています。そのことから、いろいろな立場の人たちの存在を認め、いろいろな考え方を受けとめられるようになります。

実社会を見据えると、専門的な知識や技術を身につける学びに加えて、職場で関わる人たちとの向き合える力をつけることの大切さがあります。この向き合える力としては、少なくともいろいろな立場の人たちや、いろいろな考え方の人たちを受けとめられることが基本となります。この受けとめられることが、温かく対応ができることにつながっていきます。実社会を意識して、温かい対応ができるように、心の窓を大きくして、友人や知人と関わってください。短期大学は短い就学期間ですから、とどまっているわけにはいきません。それぞれが抱く想いに向けて、一步、一步、踏み出し続けてくださるようお願いしています。

各学 科長

からのメッセージ

Teaching staff-Message

先生のキモチ、
伝えます



『生活者の視点』に立ち、自立できる専門知識と技術を

生活学科 学科長 中平 真由巳

健康で快適、真に豊かな生活を時代は求めています。生活学科では、生活学を『生活者の視点』に立って多角的、総合的に探求しています。生活学の各分野には「食健康コース」、「製菓マイスターコース」、「ライフデザインコース」を設置し、理論に基づく実習・実験・演習より構成したカリキュラムを提供して実践力を養っています。各コースでは、栄養士をはじめ、栄養教諭、製菓衛生師、フードスペシャリストなどの専門性の高い資格が取得できます。これら自立できる専門知識と技術は自分を活かす力として一生を支えてくれます。

当学科では、“地域に根ざす”というコンセプトを生活学に取り入れて、社会との結びつきを大切にしています。食健康コースでは、滋賀県に残る郷土料理の教材化と継承に力を入れ、地域と連携して伝統食が提供できる栄養士を育成しています。また製菓マイスターコースでは、地元企業と連携し、社会が求める人材の創出に向けた教育プログラムを通じてクリエイティブな製菓衛生師の育成に取り組んでいます。名称変更して新たに歩みだしたライフデザインコースは、コースの特色を活かして「住む」、「着る」という側面から地域の暮らしや文化に添ったアイデアと技術の提供を行っています。

真に豊かな生活の実現に向け、本学科の学生にはサイエンスと生活文化の融合に基づく発想力・創造力・センスを身につけていただきたいと思っています。その実現には、専門性を向上させることが重要ですが、感覚的な実体験、自分で課題を発見して挑む姿勢、必要な技術を身に付けて実践に移し最後までやりぬく精神力、共に生きる者としての柔軟な心がベースになります。わたしたち教員も全力で皆さんの支援をしたいと考えています。本学での学びの機会を存分に活かし、社会に貢献できる専門家としての土台と一緒に築いていきましょう。



皆さんの夢の始発駅に

幼児教育保育学科 学科長 荻田 純久

新入生の皆さん、ようこそ滋賀短期大学へ。皆さんには思い出の場所がありますか。私にも思い出の場所がいくつかありますが、その一つは生まれて初めて乗った電車の駅、阪急電車の伊丹駅（兵庫県）です。この駅は始発駅兼終着駅で、ここから電車に乗り、出かける時、この駅に帰ってくる時、他の駅を利用する時とは違う独特の思いがありました。この駅は1階ではなく、3階にあり、丁度私がこどもの頃大好きだった「銀河鉄道999」に出てくる銀河超特急999号が地球から宇宙に向かって出発する駅のように感じていました。思春期時代に自分を奮立たせる必要がある時に、映画「銀河鉄道999」で使用されていたゴダイゴというグループの「銀河鉄道999」、「Taking off!」といった音楽を心の中で歌いながら、この駅を出発したこともあります。

皆さんはこれまで教育機関で教育を受けて来られた訳ですが、本学卒業後4年制大学に編入する方などを除き、多くの方にとって本学はその終着駅であると言えます。同時に、社会へと旅立つ始発駅であるとも言えます。これから過ごす学生生活の中で滋賀短期大学が皆さんにとって、夢の始発駅、また思い出の場所になるようお祈り致します。



「自分」と「ビジネス」を知り、将来を考える

副学長/ビジネスコミュニケーション学科 学科長 小山内 幸治

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度から、ビジネスコミュニケーション学科は、これまでの5コースから、医療事務、オフィス実務、スポーツ健康の3コースに改編されました。また、より深い専門性については、各コースのもとにあるゼミで教育することになります。さらに入学時にコースを選択するこれまでの方式から、1回生の前期にビジネスの基礎を学び、前期終了後に所属コースと所属ゼミを選択する方式になりました。これにより、皆さんはビジネスの基本知識とスキルを理解してから、自分に合ったコースやゼミを選択することが可能となります。

半年の間に、将来の夢、自分の適性と興味をじっくり考え、自分にあったコースやゼミを選択していただきたいと思います。われわれ教員も、皆さんの相談にのり、アドバイスを与え、適切な選択ができるよう支援していきます。これからの2年間で、社会で必要とされる知識やスキルを身に着けるとともに、「心技一如」を建学の精神とする滋賀短期大学の卒業生としてふさわしい人間性を身に着けてください。また、課外活動や地域への貢献に積極的に参加し、充実した学生生活にしていいただきたいと考えます。

役職 教員

からのメッセージ

Teaching staff-Message

先生のキモチ、
伝えます



デジタルとアナログ 音と音楽

教務部長 柚木 たまみ

新しい春がやって来ました。新入生の皆さんは新たなスタート、2回生の皆さんはいよいよ就職戦線へと突入です。きっと、それぞれに身の引き締まる思いではないでしょうか。短期大学での2年間の学びは、時間は短いですが非常に濃密です。全ての科目が無駄なく設置されています。どうぞ、着実に身につけていってください。

さて、現代社会はすっかりデジタル化されていますが、人の人生は、はたしてどうでしょうか。実際には、すべての出来事は連続しています。時間は、人生は、アナログなのです。しかし、すべてのことが連続しているからこそ、ひとつひとつの出来事、日々の学びを丁寧に積み重ねていくことが大切です。音楽は、音の連続でできています。楽器を演奏したり歌ったりする時、ひとつひとつの音を丁寧に奏でると、美しい音楽が生まれます。皆さんも、ひとつひとつの物事、出来事を、その意味を感じながら丁寧に大切に扱っていってください。きっと、素晴らしいあなたの人生の音楽が生まれるでしょう。



「なりたい自分」はイメージできていますか？

学生部長 原 知子

ご入学・進級おめでとうございます。桜の季節からはや2か月、学生生活のリズムは安定してきましたでしょうか？

さて、将来のことを考えて短大に入学された方が多いと思います。資格を目指す、スポーツに打ち込む、一生の友達を作る、等々。中には、モラトリアムのとにかく短大へ、という方もいらっしゃるかもしれません。現実の厳しさは無視できませんが、悩むだけでは前に進みません。目標のある人もまだない人も、現実にとらわれすぎず、一生を通じて「心からなりたい自分」を明確にイメージしてみませんか？ 卒業後には現実の社会が待ちうけている今こそ、友人や家族、先生たちと語り合っていたいだきたいと思います。日常の授業の合間、クラブ活動の帰り道、はたまた、体育大会や純美禮祭といった高揚した気分の時、型破りの、楽しくて大きな夢を語り合ってみませんか。そしてその夢を互いに応援しあえる人間関係を築けたら、それこそが人生の土台になるのではないのでしょうか。



大学での学び

学生募集部長 山中 博史

先日、国立青少年教育振興機構が、次のような調査結果を報じました。すなわち、日米中韓4ヶ国の高校生の勉強に対する姿勢を比較すると、日本の高校生には大きな特徴がみられるということです。まず、第一に勉強の仕方を問う質問項目では、「教わったことを他の方法でもやってみる」と回答した生徒の割合が、日本では7.5%だったのに対して、米国は45.8%、中国が25.9%、韓国が10.4%という結果がでました。さらに、授業中の行動等に関わる「きちんとノートをとる」という質問項目では、「よくある」と回答した割合が79.4%で、4ヶ国中最高の値の結果でありながら、その一方で、「居眠りをする」生徒も、米中韓よりも15%も高い結果がでました。注目すべき項目は、「グループワークの時には積極的に参加する」で、「よくある」が25.3%と最も低い結果がみられ、「予習、復習をする」も12.1%と、この項目においても同様に最も低い値がでました。

この結果をみて、皆さんは、どのようにお考えになるでしょうか？
「大学での学び」は、受動的な学びではなく、あくまで学びの主体は皆さん自身なのです。新入生の皆さんには、学生としての主体的な学びの必要性を常に意識しながら、これからも精一杯学問に取り組んでほしいと考えています。勿論、充実した授業を提供できるように、私たち教職員も、全力で皆さんをサポートしていきます。
皆さんの今後のご活躍に大いに期待して、主体的な「大学での学び」を実現されることを切に願っております。



地域に根ざした短期大学

図書館長 清水 まゆみ

滋賀短期大学は、地域に根ざした短期大学であるべく、さまざまな地域貢献活動を展開しています。学内で行う公開講座、滋賀県内の各所で開催する地域移動講座、大津市立図書館と連携した講座、そのほかホテル・道の駅・商店街などともタッグを組み、地域の活性化にかかわっています。また、昨年度は図書館の一般開放を本格化し、多くの学外の方に利用していただくことができました。一方で、学生の皆さんは大学内での活動だけでなく、地域にも目を向けてください。他

府県出身者であれば知らないことが多いのは当然ですが、地元で暮らすがゆえに気づかないこともあるでしょう。そして、それを滋賀県で学生生活を送ることの意義につなげてもらいたいのです。滋賀県でしか、滋賀短期大学でしか、得られないことが必ずあるはずです。2年間の学生生活で見つけてください。図書館には滋賀県、近江に関する資料を取りそろえています。一般の方々に負けないよう、積極的に図書館を利用してください。

【特集1】

Feature

1

第46回卒業証書・学位記授与式

広報・図書委員 助教 松井 典子

平成29年3月15日(水)10時より体育館に於いて第46回卒業証書・学位記授与式が挙行されました。学歌斉唱の後、卒業生一人ひとりの名前が読み上げられ、生活学科73名、幼児教育保育学科162名、ビジネスコミュニケーション学科92名に学位記・卒業証書が授与されました。

式辞で佐藤学長は、本学の精神である「心技一如」、そして「自らに投資すること」、「やりぬく力」について激励の言葉を贈られ、卒業

生の今後の活躍を祈念しました。

また、卒業生を代表して幼児教育保育学科の田邊阿須香さんが謝辞を述べ、学生自治会長の徳田朋子さんが卒業記念品の目録を贈呈しました。

保護者の方々、ご来賓の方々、教職員に囲まれ、それぞれの新たな門出を祝う厳粛な式典となりました。



卒業記念パーティー

学生自治会 副会長 篠原 圭奈

3月15日(水)、琵琶湖ホテルにて卒業記念パーティーが盛大に行われました。

自治会入会から自治会行事については、先輩方に引っ張ってもらって運営していました。しかし、今回の卒業記念パーティーは、初めての自分たちだけで企画、運営しなければならない行事だったので非常にプレッシャーのかかる貴重な体験をさせて頂いたと思っています。パーティーは、大学での「思い出を!」。楽しいだけでなく「感動を!」をコンセプトにスライドショーやフリータイムの時間を多く採りいれ計画しました。パーティーでの先輩方は、ゼミの皆さんで食事や会話を楽しまれ、先生

方と記念撮影など、先輩方の笑顔や姿を見てとても楽しそうに時間を過ごして頂いたと感じました。

今年の自治会は、幼児教育保育学科の学生が多く、実習と重なり、本番に会長と副会長が不在の中で5人という少ない人数の中、声を掛けあい、確認しあい、協力しあい頑張りました。先輩たちとの自治会活動は1年という短い期間ではありましたが、先輩方と過ごせた時間はかけがえのないものだと思います。そういった経験や体験を後輩に引き継ぎ、5年後、10年後、そして永続的に続いていく事を願っています。



入学式

幼児教育保育学科 教授 手良村 昭子

桜の蕾もようやく膨らみ始めた4月4日、平成29年度滋賀短期大学入学式が行われました。生活学科73名、幼児教育保育学科158名、ビジネスコミュニケーション学科90名の計321名が緊張した面持ちで式に臨みました。

式典では、幼児教育保育学科2回生の合唱団と共に学歌斉唱が行われ、入学を許可された321名の名前が読み上げられました。佐藤学長は、式辞において本学の建学の精神「心技一如」について述べられ、「自立した歩みの出来る人になってほしい」とあいさつされました。新入生を代表してビジネスコミュニケーション学科の本間結衣さんが入学宣誓文を読み上げました。みなさんが、滋賀短期大学で夢と希望を持ち、充実した2年間が送れますよう教職員も気持ち新たに頑張っていくと思っています。



フレッシュマンセミナー

学生支援委員 特任教授 柳父 立一

連日の入学行事を済ませて、4月7日はびわこ大津プリンスホテルに集合。学長挨拶、副学長による本学の建学の精神である「心技一如」の説明があり、観世流能楽師吉浪壽晃さんによる能についての講話「～花は心 種は態（わざ）なるべし～」を聴き、新入生から希望者を20名近く募って、同門の田茂井廣道さん、宮本茂樹さん、河村浩太郎さんの指導で、すり足での歩き方、腕の動かし方、能面をつけて動いてみる、といった体験を行った。休憩後、学歌の練習。移動して、フルコースのフランス料理を体験しながら食事のマナーを学んだ。その後各学科に分かれて、生活学科ではグループを作り、新聞紙を使って服を作る「パピエアラモード」を行い、幼児教育保育学科では歌唱指導や、2回生が手遊びを指導し、成果を披露して、順位を競った。ビジネスコミュニケーション学科では、名刺を使った「出会いゲーム」、各先生が出題する「ゼミ別クイズ大会」を行った。

新入生には、お互いと先生に大きく近づけた一日となった。



学生自治会執行部のご紹介

会長 南井 大河

私達学生自治会執行部は、短大の2年間、学生生活を有意義に、そしてより良い価値あるものにするため、学生を代表して様々な活動を行っています。5月の自治会総会、6月の体育大会、6・9月のリーダーズトレーニング、11月の純美禮祭（学園祭）、そして3月の卒業記念パーティーの企画運営が大きなイベントです。

自治会活動を通した同年代以外の人達との関わりや発見、実践訓練は、社会性を身につける上で大きな財産になると確信しています。滋賀短期大学での2年間をどう過ごすかはあなた次第です。学生みんなが楽しんで笑顔になれるような企画を私たちと一緒に取り組み、滋賀短期大学を盛り上げていく人を心からお待ちしています。是非よろしくお願いします。



新入 職員

ごあいさつ

New staff-Message

よろしく
お願いします



「楽しい学生生活を」

生活学科 特任助手
池之内 愛子

実験や実習を通して、食の楽しさをお伝えできればと思います。勉強だけでなくサークル活動や遊びなどメリハリを付け、学生の皆さんが卒業される際に、「滋賀短で学べてよかった、楽しかった!」と思っていたければ幸いです。2年間の学生生活が充実したものになるようお手伝い致します。



かけがえのない2年間と一緒に

生活学科 特任助手
豊岡 真莉

この春に大学を卒業し、ご縁があってこちらに来させて頂くこととなりました。大学生活という色濃く大切な期間に、皆さんと学びを共にさせていただけることを大変嬉しく思っております。少し不安もありますが、先生方や学生の皆さんから学ばせていただきながら、自分自身も成長していけるよう努めて参ります。一緒に、充実した2年間を作っていきます。よろしくお願い致します。



子どもの笑顔に出会うため

幼児教育保育学科 准教授
久米 央也

今年度より幼児教育保育学科で勤務しております。私は34年間主に公立小学校や教育委員会で、教育に携わってきました。その中で、特に小学校教育の土台となる保育・幼児教育の大切さを身にしみて感じてきました。

将来出会う子どもたちの生き生きとした笑顔のためにがんばる皆さんを応援します。よろしくお願いいたします。



心のつながりを大切に

ビジネスコミュニケーション学科 教授
沖山 圭子

研究室から見渡せる琵琶湖と山並みに心の元気をもらっています。医療現場での経験を活かし、医療秘書の養成に携わって参りました。診療のツールは電子化が当たり前になってきましたが、医療の基本は患者様との心の繋がりであります。心と技が一つになることを大切に、日々精進していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



2年間を大切に

ビジネスコミュニケーション学科 准教授
若生 真理子

関西の諸大学で非常勤講師として勤めてきましたが、大津という新たな地でスタートをする機会をいただきました。学生や教職員の方々と接して2か月、仕事に追われながらも、学内の温かい雰囲気と琵琶湖にほっこりしている自分を感じています。希望を持って入学した学生の皆さんの2年間を全力で支えていきたいと思っています。



「毎日楽しく、日々成長」

美術準備室 嘱託職員
松野 千絵

4月より、美術準備室の嘱託職員としてお世話になっております。私自身、滋賀短期大学幼児教育保育学科の卒業生で、3月までは幼稚園教諭として子どもたちと毎日楽しく過ごしてきました。これからは、学生の皆さんのサポートを少しでも出来るよう、努力したいと思っています。そして私自身、学生の皆さんと共に日々成長していけるよう頑張ると共に、毎日笑顔で楽しく過ごしたいと思っています。皆様どうぞ宜しくお願い致します。



支援していきます

事務局長
浅見 義典

この4月に、滋賀短期大学の事務局長に就任しました。滋賀県庁時代には通算で15年、教育行政に携わっていました。短大の運営は初めてですが、行政マンの経験を生かし、皆さんの学生生活が充実したものとなるよう、支援していきたいと思っています。よろしくお願いします。

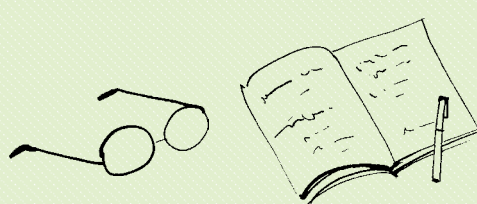


よろしくお願いします！

入試広報課 主事
高橋 英司

今年度より長い学生生活を終え、こちらの入試広報課でお世話になっております。職員としての仕事をこなしていく中で、学生のみなさんに気軽に声をかけてもらえるような存在になりたいと思っています。みなさんにとっての貴重な大学生活がよりよいものになるようお手伝いしていきます。よろしくお願いします。

退職 職員 ごあいさつ



生活学科の変遷とともに歩んだ四半世紀

昭和63年から平成3年まで非常勤で、そして平成6年からは専任として、学生の皆さんと過ごしてきました。昭和63年当初は、滋賀女子短期大学服飾学科で、被服科学・生活デザイン・生活科学の3コースでした。学科名は平成3年から生活学科に変わり、私が専任になった平成6年から、生活造形と生活科学の2コースになりました。生活科学コースはその後、平成9年から食生活コース、平成18年から食健康コースと名称変更し、平成21年の入学生から栄養士が取得できるようになりました。一方、平成17年には製菓コースが新たに加わり3コースに、

30年間という時間

短期大学に採用して頂いたのは当時の滋賀女子短期大学に秘書科（現ビジネスコミュニケーション学科）が新設された昭和62年の事でした。当時京都の府立高校で体育の教員として勤務していた私に幼児教育学科の助手としてお話を頂きました。大学教員そして女子短大という自分が予想していなかったところからのお誘いだったのでかなり悩んだ末、思い切って飛び込ませて頂きました。幼児教育の学びも諸先輩方や附属幼稚園との連携により“一から”日々学ばせて頂きました。新しいことばかりでしたが授業や学生指導、バスケットボール部の指導など全

満ち足りた5年間

前任の森田育代先生とは日本秘書協会と一緒に活動をしておりまして、愛知県から大阪へ来る折にご退職の話は聞いておりました。その後任のお話が、よもや私に回ってくるとは思ってもみませんでした。今、思えば何と幸運だったことでしょう。そして、約束の5年間で過ぎました。滋賀県庁の近くに住み近江バスで通勤する日々は、学内で展開するさまざまな出来事にもかかわることもあり、豊かで楽しい5年間でした。多数の学生を前にしての授業は、しばし忘れていた教室での緊張感を呼び戻してくれ、働いている実感がありました。学科構成が前任校とほぼ

退職にあたって

滋賀短期大学には、平成11年4月より18年間お世話になりました。労働行政から教育機関への転職で不安で戸惑うことばかりでしたが、教職員の皆様のお力添えで無事定年をむかえることができました。私が就職指導課に赴任いたしました当時は、短大生「就職超氷河期」と言われるほど、就職が大変厳しい時期であったように記憶しています。入学してまだ半年、大学生活にも慣れない1回生に就職ガイダンスを実施し、厳しい就職戦線に備えました。就職のための資格取得講座を開催したり、外部就職指導者によるガイダンスを取り入れるなど、ガイダ



生活学科 教授 木谷 康子

21年には製菓マイスターコースに改称しました。生活造形コースもこの年生活クリエイティブコースに、平成28年からはライフデザインコースになりました。

こうした学科の変遷は、社会の変化を反映しており、常にひとびとの生活に寄り添い福祉の向上を目指した実践的な学びを、という生活学科教員の思いを込めたもので、平成30年度からは食に特化した学科になります。

これからの生活学科と滋賀短大の益々の発展をお祈りしています。

幼児教育保育学科 教授 山本 剛史

てがやりがいのある充実した日々を送らせて頂いたと思います。その後アメリカでの1年間の留学の機会を頂いたり、学生部長や最後には学科長も務めさせていただくことになり、当時の僕を知っておられる大先輩方からみると“お前が?”とおっしゃることは間違いないと思います。逆に言えば幼児教育の大学教員として30年かけて“一から”育てて頂いたと言えるでしょう。滋賀短期大学に心から感謝をしたいと思います。学園・短大の益々のご発展をお祈りしています。ありがとうございました。

ビジネスコミュニケーション学科 特任教授 清水 たま子

同じだったことも幸いでした。学生数減少で衰退した元職場とは違って変わり、職員のみなさんが明るく元気で、「素」で付き合える方々との時間外の交流もできました。そればかりか、理事長と、厚かましくも何度か酒席を共にさせていただきました。これは、私の人生で記念すべきことです。

短大だからこそできることがあると思います。滋賀短期大学がさらに飛躍されますことを、切に願っております。

事務局長 福地 茂

ンスやセミナーに取り組んでいたように思います。

近年の就職率は、平成28年は99.3%、平成27年は99.5%と安定しています。

学園は、平成30年に創立100周年を迎えます。また、その2年後には短大50周年を迎えます。学園、短大のますますのご発展を祈念申し上げます。最後に、私を18年にわたって支えて下さった教職員の皆様に厚くお礼申し上げます。有り難うございました。

Check it out!!

皆さんに、お知らせやニュースをお届けします！

Shiga・Tan・Information

同窓会だより

【新入会員のお知らせ】

●平成29年度新入会員

生活学科・・・73名
幼児教育保育学科・・・162名
ビジネスコミュニケーション学科・・・92名
計327名

●年次評議員

生活学科：木田紗璃奈さん、村崎聖奈さん
幼児教育保育学科：南 将樹さん、渡辺真人さん
ビジネスコミュニケーション学科：徳田朋子さん、西畠 徹さん

●評議員 徳田朋子さん

【平成29年度同窓会総会・懇談会のご案内】

今年度も総会の後に、生活学科製菓マイスターコースの金丸政義先生にご指導をいただき、製菓実習を行います。お菓子作りの楽しさをいっしょに体験しましょう。ご参加をお待ちしております。

●日 時：平成29年9月3日（日） 9：00～受付（玄関ホール）
9：30～総会
10：00～お菓子作り（111教室）
12：30～懇談会（本学食堂）

●持参品：エプロン・三角巾・上履き
●会 費：1,000円（当日受付にて徴収します）
●申込み方法：

- ①6月上旬頃送付する総会案内状同封のハガキで申込み。
- ②下記宛にFAXで申込み。会員番号・氏名・住所・電話番号を記入のうえ、同窓会事務局 077-523-5124に送信してください。

●申込み締切日：平成29年8月17日（木）

平成29年度 ホームカミングデーのご案内

【生活学科】

●日 時：平成29年9月3日（日） 同窓会終了後開催（予定）

【ビジネスコミュニケーション学科】

●日 時：平成29年9月3日（日） 同窓会終了後開催（予定）

【幼児教育保育学科】

●日 時：平成29年11月5日（日） 10時～15時

【申込み方法】掲載のFAX番号またはメールにてお申込みください。

●場 所：滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 TEL.077-524-9077 FAX.077-523-5124 Mail：gakusei@sumire.ac.jp

平成28年度の就職状況について

学生支援課 大伴 嘉彦

平成28年度の就職活動は、会社説明会解禁日が3月、選考開始が6月に変更されました。就職支援講座等も昨年同様日程の調整は行わず、従来の内容で支援講座を進行させました。1回生の後期10月開始の就職支援講座は、合計8コマ分の実施で年内に履歴書完成を目標に進行し、年明けには、就職活動に直結する面接対策、電話対応、手紙の書き方講座など実務的な内容で実施しました。支援体制においては、昨年度同様、ハローワーク、厚生労働省委託企業からの就職支援サポーターの派遣も含め週3日（月曜日、火曜日、木曜日）来学頂き学生指導の協力体制を整えました。そういった支援体制の下、281名の学生が内定を頂き、99.3%の就職内定率を確保することができました。進学決定では、4年制の大学進学が6名、専門学校生4名が新たな進路先で研究活動と学修をつづける予定です。今後は、目標設定し計画的に就職活動を行える学生を増やしていきたいと考えています。そういった意味でも学生の就職活動のモチベーションを継続させることが大切だと考えます。それには、学生と支援課だけではなく、保護者の協力も大切になります。最終的に進路決定するのは学生本人です。しかし、保護者として人生の良き先輩として学生が迷った時アドバイスをお願いしたいと考えています。学生に寄り添い時には厳しく支援を続けることで結果が生まれると私達学生支援課では考えています。

平成28年度 資格取得状況

●生活学科

フードスペシャリスト・・・7名
製菓衛生師受験資格・・・32名
栄養士・・・38名
栄養教諭二種・・・1名

●幼児教育保育学科

幼稚園教諭二種・・・137名
保育士・・・143名
児童厚生員・・・10名
レクリエーション・インストラクター・・・2名

●ビジネスコミュニケーション学科

上級秘書士・・・21名
上級情報処理士・・・13名
秘書士・・・67名
上級秘書士（メディカル秘書）・・・14名
日本医師会医療秘書合格・・・10名
情報処理士・・・77名
レクリエーション・インストラクター・・・9名
ウェブデザイン実務士・・・11名

8 滋賀短期大学 学報 No.81

滋賀短期大学 学報 No.81 9

実習報告

■ Mくんから学んだこと

幼児教育保育学科 北村 玲衣奈

初めての保育実習で、私は一人の男の子と出会いました。男の子の名前は「M君」です。

実習日初日に私が他の子どもたちと遊んでいると、M君は私を何度も叩いてきました。その時私は、なぜM君が私を叩いてくるのか分かりませんでした。私は、「M君がなぜ私を叩いてきたのか、私はM君にどのように対応すればいいのか」、自分でじっくり考え悩みました。でも分かりませんでした。その日の夕方、園長先生にこのことを話すと、「きっと北村さんと遊びたくて誘ってるんじゃないかしら？次は、北村さんから声をかけてみたらどうかな？」と言われました。次の日、M君がまた私を叩いてきたので、「M君いっしょにぬり絵しない？」と言うと、M君は黙って私の膝に座りにきてくれました。この時私は本当にびっくりしました。だってM君は昨日まで私を叩いてきたのですから。私が「何色が好きかな？ここぬってみようか？」と言うと、M君は「あのね、ぼくみどりいろがすき」と言って緑色の色鉛筆を持ち、M君と私は一緒にぬり絵を楽しむことができました。M君は、それ以降私を叩いてくることはなく、「おねえちゃんあのね…」とたくさん声をかけてくれました。

今回の実習で、「いかに子どもの気持ちを受け止めるか」が大切だと思いました。私は「この子がそのような行動をとるのはどうしてなんだろう？」と考え、子どもの気持ちに寄り添う、子どもの気持ちを大切にする保育者になりたいです。これからももっとたくさんのことを学んで頑張ろうと思います。



(子どもとの思い出—北村玲衣奈 画)

■ 施設実習を終えて

幼児教育保育学科 南井 大河

僕は、「びわこ学園」という重度心身障がい者施設に、初めての保育実習に行きました。最初は障がいのある方にどうしたらいいのか戸惑ってばかりでした、しかし1日1日関わっていく中で自分のできることも増えました。僕はまず相手の気持ちを考えました。気持ちを考える中で、「利用者さんは、いきなり来た僕に介助されることはとても怖いことだろう、だから僕の言うことはすぐには聞けないだろう」と思いました。僕は、相手の気持ちを考え、相手の目線に立って心からの言葉かけをしようと努力しました。その結果、僕の主な担当はTさんですが、Tさんは、少しずつ僕のことを見てくれ、言葉かけに立ち上がってくれました。僕はとても嬉しかったです。僕の気持ちを分かってもらえたと感じたからです。しかし上手いかない事もあり、何が必要なのか考えていき、その中で待つことの大切さを知ることが出来ました。食事介助のときなど食べてくれないとき無理に食べてもらうのではなく、一度待ってTさんが食べてくれそうな時に食べてもらうなどしていきました。僕はこれこそが利用者さんの気持ちを考えることだと思いました。待つ、ということに気づけた事は、僕にとって本当に人生の糧になると感じました。10日間で本当に貴重な体験をさせていただきました。



(「びわこ学園」HPより転載許可いただきました。)

■ インターンシップを終えて

生活学科 製菓マイスターコース 土田 朱莉

私は3月1日から7日までの6日間、菓匠禄兵衛さんへインターンシップに行き、実際の職場での仕事や雰囲気を経験しました。初日は不安でしたが、従業員の方々がとても優しく丁寧に教えて下さったので楽しく仕事することが出来ました。ほぼ毎日桜餅の仕上げ作業をしていたのですが、塩漬けた葉を1枚1枚隈なく点検し、少しでも変色していたり破れているものを除いて綺麗な葉だけを使っていたので「勿体無いな。」と思いながら仕分け作業をしていました。自分では全く気にしない部分だったので、「え、これも駄目なの!？」と驚くことが沢山ありました。普段の実習とは違い、自分や家族が食べるのではなくお客様がお金を払って購入して下さるものなので、誰が見ても綺麗だと思えるような完璧な商品を作るように努力することが大事なんだと思いました。私はインターンシップを通して、技術だけでなくお客様へのおもてなしの心を学びました。



■ 充実した10日間

ビジネスコミュニケーション学科 牧野 和輝

将来テーマパークで働きたいと考えている僕は「伊賀の里もくもく手作りファーム」でインターンシップをしたくて先生に相談すると、すぐに頼んでくださり、簡単にOKがもらえました。そこは、日本全国からインターンシップの学生を受け入れているとのことでした。そのために宿泊する施設もあり、食事も従業員食堂で食べさせてくれました。しかも夜は園内の温泉に入ることでもできました。

インターンシップのプログラムがきちんとできており、ハム、ビールを作る工場、野菜塾市場、学習牧場では子牛の寝床の掃除をしたり羊の毛を洗ったり等々、この施設でしていることをひととおらせてもらいました。反省点も多々あるのですが、どれも貴重な体験でした。その記録をパワーポイントにして報告会で発表したら、ずいぶん長いものになってしまいましたが、僕は満足しています。



■ インターンシップを終えて

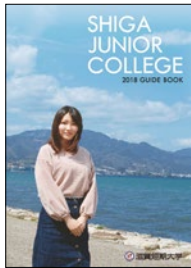
ビジネスコミュニケーション学科 桑原 琴音

私はおごと温泉びわ湖花街道で5日間お世話になりました。お客様のお出迎え・送り迎えや浴衣を選んでもらうなどのフロントの仕事と昼食・夕食の準備、料理を出すなどの接客の仕事を行いました。どちらの仕事もお客様と接することが多く、どれだけ一歩先のことを考えて行動するかがとても大切なことだとわかりました。印象に残っていることはお客様が写真を撮っていたら一声おかけして代わりに写真を撮るということです。その時にお客様が笑顔でお礼を言って下さったことがとても嬉しくこのような心配りを大切にしていきたいな、と思いました。

お客様から見えない所の仕事を知ることによってたくさんの知識を得られとても有意義で貴重な体験をすることができました。



入試情報



平成30年度入学試験のお知らせ

■生活学科リニューアル

- ①「食健康コース」と「製菓マイスターコース」の2コース制になります。
- ②食健康コースの定員が35名から45名へ定員増となります。 <定員増申請予定 ※9月上旬に確定します。>

■新「奨学金制度」・新「検定料減免制度」がスタート

- ①滋賀短期大学 夢・未来人特待生制度 入試成績により「最大で2年間の授業料が「全額免除」となります。 <滋賀短 ユメミライ> ・給付条件・対象入試は、入試ガイドを参照してください。
- ◇ 滋賀短 ユメミライ プラチナ100 2年間の授業料 全額免除
- ◇ 滋賀短 ユメミライ プラチナ50 2年間の授業料 半額免除
- ②<AO入試対象>早期出願支援制度で AO入試出願者全員5,000円減免されます。
- ③<一般入試+センター>ダブル出願で 検定料60,000円が**40,000円**となります。

給付型だから
返納不要

A O 入 試 （事前面談）			
区 分	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ 期
受 付 期 間	7月18日(火)～7月28日(金)	8月14日(月)～8月22日(火)	9月4日(月)～9月19日(火)
面 談 日	8月6日(日)・8月7日(月) どちらか1日(受付後、連絡します。)	8月25日(金)	9月23日(土)
結 果 発 表 日	8月14日(月)	9月1日(金)	9月29日(金)

※AO入試事前面談に本学卒業生の子・兄弟姉妹および在学生の兄弟姉妹が申込みをした場合には、通過判定時に優遇する制度があります。詳細は入試広報センターまで。

試 験 区 分	公募制推薦入試			一般入試	
	前期A日程(専願・併願)	前期B日程(専願)	後期(専願・併願)	I 期	Ⅱ 期
出 願 期 間	10月2(月)～10月13(金)	10月23(月)～11月7(火)	11月20(月)～12月5(火)	1月15(月)～1月29(月)	2月13(火)～2月26(月)
試 験 日	10月22日(日)	11月12日(日)	12月10日(日)	2月2日(金)	3月5日(月)
合 格 発 表 日	10月27日(金)	11月17日(金)	12月15日(金)	2月9日(金)	3月9日(金)

以上の他に、大学入試センター試験利用入試、指定校推薦入試、社会人特別入試等があります。平成30年度入学試験等の詳細は、大学案内・入試ガイドでご確認をお願いします。また、本学の主な奨学金制度等は次のとおりです。

滋賀短 夢・未来人特待生制度…入試成績により最大で2年間の授業料が「全額免除」となります。(返納不要)※詳細は入試ガイドをご確認ください。

純美禮学園奨学金(優待奨学生制度)…純美禮学園(滋賀短期大学・附属高校)に兄弟姉妹で2人以上の在籍がある場合は、その弟か妹を対象に授業料の1/2を奨学金(返還義務なし)として支給します。

●オープンキャンパス 6/11(日)、6/25(日)、7/22(土)、7/23(日)、8/18(金)、8/19(土)、12/16(土)、2/11(日)※製菓のみ、3/21(水・祝)

滋賀短期大学を一人でも多くの高校生に知ってもらおうと、今年も色々趣向をこらして開催します。受験生のお知り合いがいらっしゃいましたら、その方にもぜひお声掛けください。詳しくはHPをご覧ください。

●学校見学について

滋賀短期大学のキャンパスをいつでもご見学いただくことができます。また、大学案内などの資料を配布しております。

【見学受付】

平日(9:00～16:30) 入試広報課(077-524-3848)までご連絡ください。大学案内・願書等の資料配布、キャンパス内のご案内をいたします。

平成29年度入試結果 【志願者高校一覧】

出願のあった高校は、次のとおりです。

富山県 滑川 山梨県 甲斐清和 長野県 諏訪実業 福井県 美方／若狹／若狹東／丹南／仁愛女子 三重県 伊賀白鳳／名張／名張桔梗ヶ丘／相可／津田学園 滋賀県 堅田／東大津／大津／瀬田工業／大津商業／彦根東／彦根西／彦根翔陽／長浜／長浜北／長浜農業／長浜北星／八幡／八幡工業／八幡商業／草津／栗東／野洲／水口／甲南／日野／能登川／愛知／伊香／高島／草津東／湖南農業／河瀬／玉川／守山北／甲西／伊吹／北大津／国際情報／大津清陵／石部／滋賀短期大学附属／比叡山／近江／近江兄弟社／綾羽／滋賀学園／光泉／彦根総合 京都府 洛東／北嵯峨／城陽／峰山／東稜／洛水／南丹／久御山／西乙訓／京都すばる／大谷／京都文教／京都橘／京都西山／洛陽総合／日星／京都翔英 大阪府 春日丘／四天王寺／星翔 兵庫県 豊岡 奈良県 添上／奈良朱雀 和歌山県 田辺／新宮 徳島県 富岡東／阿波 香川県 高松南／尽誠学園 高知県 室戸／高知中央／土佐女子 など

願書のご請求・質問お問い合わせはこちらまで。 入試広報センター（入試広報課） TEL：077-524-3848 メール：tnyusi@sumire.ac.jp

短期大学行事等開催状況(平成28年12月～平成29年5月)

(総務課に届出済(届出分)の一部を掲載しています。:短大事務局)

12月

- 1日(木) 教授会、危機対策本部会議、教学マネジメント部会、教職員対象人権研修会、就職支援講座
- 2日(金) 臨時理事会、地域移動講座(近江八幡市)
- 3日(土) ITパスポート対策講座、MOS対策講座
- 8日(木) 教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、すみれがーでん
- 10日(金) 公募後期推薦入試・同窓生特別入試
- 12日(月) 学園事務連絡会議
- 13日(火) 人事委員会、栗東高校見学会
- 14日(水) フレッシュ講座、入試委員会
- 15日(木) 臨時教授会、教学マネジメント部会、企画委員会、奨学生選考委員会、就職支援講座
- 16日(金) 理事会、評議員会、滋賀県大学図書館連絡会議
- 17日(土) クリスマスオープンキャンパス
- 18日(日) 滋賀短Kids活動(琵琶湖博物館)、フードスペシャリスト資格認定試験、ITパスポート対策講座、MOS対策講座
- 19日(月) センター試験説明会
- 22日(木) 科会、すみれがーでん
- 23日(金)(祝日) 金曜日授業
- 24日(土) ITパスポート対策講座、MOS対策講座
- 26日(月) 冬季休業(1月4日(水)まで)
- 27日(火) 仕事納め

1月

- 5日(木) 授業再開、仕事始め、教授会、教学マネジメント部会、就職支援講座
- 7日(土) ITパスポート対策講座
- 10日(火) 補講日、地域移動講座(守山市)
- 12日(木) 補講日、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、すみれがーでん
- 13日(金) Webテスト(ビジコミI回生)
- 14日(土) 大学入試センター試験
- 15日(日) 大学入試センター試験
- 19日(木) I回生対象人権講演会、企画委員会、情報システム委員会、地域移動講座(大津市)
- 21日(土) 図書館連携講座(北図書館)、ITパスポート対策講座
- 24日(火) 企画調整会議
- 25日(水) 後期定期試験(1月31日(火)まで)
- 26日(木) 科会
- 29日(日) 一般入試(I期)
- 30日(月) 水口高校インターンシップ受入

2月

- 1日(水) 秘書検定講座(ビジコミ学)
- 2日(木) 教授会、教学マネジメント部会、FD学内研究会、秘書検定講座(ビジコミ学科)、すみれがーでん
- 4日(土) 秘書検定試験(ビジコミ学科)
- 9日(木) 臨時教授会、人事委員会、部長長会議、研究ブランディング事業構想検討委員会、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会
- 10日(金) 臨時理事会、臨時評議員会
- 14日(火) II回生後期成績交付
- 15日(水) II回生後期再試験
- 16日(木) 臨時教授会、人事委員会、教学マネジメント部会、自己点検・評価委員会、企画委員会、学生募集委員会、II回生後期再試験

- 21日(火) 地域連携教育講座運営委員会
- 23日(木) 科会
- 24日(金) 常任理事会
- 27日(月) 学園事務連絡会議

3月

- 2日(木) 教授会、人事委員会、教学マネジメント部会、部長長会議、附属高校実践講座打合せ、すみれがーでん
- 6日(月) 一般入試(Ⅱ期)
- 9日(木) 臨時教授会、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、入試委員会、学生募集委員会、おはなし会
- 10日(金) 理事会、評議員会
- 15日(水) 卒業証書・学位記授与式、卒業記念パーティー(琵琶湖ホテル)
- 16日(木) 教学マネジメント部会、企画委員会、すみれがーでん
- 17日(金) 新I回生学生証写真撮影・学生生活オリエンテーション
- 20日(月)(祝日) 春のオープンキャンパス
- 21日(火) 新II回生成績交付・教務オリエンテーション
- 22日(水) 新II回生後期再試験
- 23日(木) 新II回生後期再試験、学長裁量研究報告会、科会
- 25日(土) 非常勤講師予定者教務説明会
- 29日(水) 学園事務連絡会議
- 31日(金) 退職者辞令交付式、離任式

4月

- 3日(月) 新任教職員辞令交付式、教授会、部長長会議
- 4日(火) 入学式、新任教職員ガイダンス(4月6日(木)まで)
- 5日(水) 期首監査、I・II回生オリエンテーション、II回生健康診断
- 6日(木) I・II回生オリエンテーション、I回生健康診断、すみれがーでん
- 7日(金) フレッシュマンセミナー(びわ湖大津プリンスホテル)
- 10日(月) 前期授業開始
- 13日(木) SD委員会、危機管理委員会、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会
- 20日(木) 教学マネジメント部会、企画委員会、すみれがーでん
- 27日(木) 自己点検・評価委員会、科会
- 29日(土) 生活学科オープンキャンパス(食・製菓のみ)

5月

- 6日(土) 消防点検
- 9日(火) 給食経営計画実習食事提供
- 10日(水) 創立記念日
- 11日(木) 教授会、研究ブランディング事業作業部会、学内研究会、すみれがーでん
- 13日(土) 幼2) 幼稚園前期教育実習補講日
- 14日(日) 母の日オープンキャンパス(製菓のみ)
- 18日(木) 会計監査、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、学生自治会総会
- 19日(金) 会計監査
- 20日(土) 幼2) 幼稚園前期教育実習補講日
- 23日(火) 監事監査、給食経営計画実習食事提供
- 25日(木) 教学マネジメント部会、企画委員会、科会、すみれがーでん
- 26日(金) 理事会、評議員会
- 27日(土) 幼2) 幼稚園前期教育実習補講日
- 28日(日) オープンキャンパス
- 30日(火) 給食経営計画実習食事提供

平成28年度 教育研究活動報告

1) 著書

- 松木 宏史 ■(共)地域福祉のオルタナティブ <いのちの尊厳>とく草の根民主主義>からの再構築 法律文化社 10月
- 李 霞 ■(共)コンパクト版『教育・保育課程論』(第2章) 一藝社 3月
- 杉山 潤 ■(共)D.H.ロレンス書簡集 VIII 1917-1918 松柏社 12月
- 伊澤 亮介 ■(単)ベトナムアーカイブズの成立と展開:阮朝・フランス植民地期・そして1945年から現在まで(翻訳)

2) 本学研究紀要第42号掲載学術論文・研究ノート(2月) (サブタイトル省略)

- 木下 友理子、中平 真由巳 ■(共)クッキング教室での体験学習が幼児の調理技術および食意識におよぼす影響
- 戸田 賀志子 ■(単)『女学雑誌』にみる装いの指南
- 荻田 純久 ■(単)母親同士のコミュニケーションと心理的ストレスに関する一考察
- 北後 佐知子 ■(単)バウロ・フレイレの教育思想における“対話的共同体”への示唆
- 李 霞 ■(共)地域の特徴を生かした幼児教育課程編成の試み
- 浜崎 由紀 ■(単)保育者養成における人形の活用
- 松井 典子 ■(単)保育者養成校におけるピアノ初心者のための指導法
- 江見 和明 ■(共)地方中核市部における高齢者の暮らしに関する考察
- 久保 覚司 ■(単)医療事務教育へのOSS活用に関する考察
- 入江 晴香、原 知子 ■(共)学内施設の細菌汚染状況について
- 清水 たま子 ■(共)対話型鑑賞教育(VTS)を応用した対話力の育成法を探る
- 伊澤 亮介 ■(単)ベトナムにおける「西遊記」受容についての一考察

3) 学術論文(サブタイトル省略)

- 中平 真由巳 ■(共)家庭における揚げ油の保存方法が揚げ物に及ぼす影響 夕陽丘学園短期大学紀要 1月
- 木下 友理子 ■(共)青年期女性における体格と食意識の関係性 京都女子大学食物学会誌第71号 12月
- 荻田 純久 ■(共)中学生・高校生を対象とした過剰適応に関する研究 教職教育研究 3月
- 小山内 幸治 ■(共)大学生を対象とした金融リテラシー調査票の作成と調査結果について 経済教育 第35号
- (共)「米国金融教育におけるJump\$tartの役割 ―ヒアリング調査に基づくわが国への示唆―」『金沢星稷大学論集』第50巻第1号
- 江見 和明 ■(単)高齢者の社会参加に関する考察 愛知学院大学論叢経営学研究 10月

4) 学会発表

- 中平 真由巳、原 知子 ■(共)近畿圏の家庭における油を用いた調理の状況 日本調理科学会 8月
- 高橋 ひとみ、中平 真由巳 ■(共)滋賀県に伝わる行事の食事に対する短期大学生の家庭の調理状況―正月料理の継承―ポスター 日本食育学会 6月
- 滋賀県の家庭料理 主食の特徴:琵琶湖をとりまく三層の主食文化 ポスター 日本調理科学会 8月

- 原 知子 ■(共)Prediction of optimum size and volume ratio of potatoes in boiling process for ecological and energy saving cooking XXIII IFHE World congress 8月
- (共)大阪府の家庭料理 主食の特徴―米料理と小麦粉利用に焦点を当てて 日本調理科学会 8月
- (共)兵庫県の家庭料理 主食の特徴―ごはんもの 日本調理科学会 8月

- 木下 友理子、高橋 ひとみ、中平 真由巳 ■地域密着型体験活動『滋賀短 Kids』の実施報告 ポスター 日本食育学会 6月

- 手良村 昭子 ■(共)乳幼児の描画活動に関する一考察 日本保育学会第68回大会 5月
- (共)乳幼児期の保育とアートの関わり 日本保育学会第68回大会 5月

- 李 霞 ■中国における「中外合作弁学」の実態及び課題―河北省でのフィールド調査を手掛かりに― 関西教育学会 12月

- 李 霞、前川 頼子 ■(共)大津市における保育士の質の実態と課題 日本保育学会 5月

- 松井 典子 ■(単)保育士・幼稚園教諭養成のためのピアノ指導法―Marianne Uszler 他著“The well-tempered keyboard teacher”を参考に― 日本音楽表現学会 6月

- 浜崎 由紀 ■(共)戦中における富士見幼稚園の保育内容(3) 日本保育学会 5月

- 小山内 幸治 ■(共)大学生の金融リテラシーに及ぼす学校、家庭、社会の影響について 日本金融学会2016年度春季大会プログラム 武蔵大学 5月

- 江見 和明 ■(単)滋賀県大津市における高齢者の暮らしに関する考察―高齢者ニーズ調査の結果から― 日本消費経済学会全国大会 7月

- 金澤 雄介 ■(単)古サルデーニャ語におけるクリティックの重複について―語順との関連―日本ロマンス語学会第54回大会 5月
- (単)A Typological Analysis of Differential Object Marking in Old Sardinian IV Congreso Internacional de Lingüística y Literatura(カンタブリア大学、スペイン)6月
- (単)Studio contrastivo del raddoppiamento clítico nel sardo e spagnolo -dal punto di vista del grado della grammaticalizzazione- VIII Colloquio Internazionale “Linguistica contrastiva romanzo-tedesca e intraromanza” (インスブルック大学、オーストリア) 8月

- 伊澤 亮介 ■(単)Some characteristics and a common feature of programs of each Vietnamese water puppets troupe – through comparing their programs and analyzing some scripts Int'l Conf. on Vietnamese-Taiwanese studies 11月

5) 演奏会・展覧会

- 手良村 昭子 ■The 33rd遊展 出展 「さくらのおひめさま」「night2」(銅版画)Gallery吉象堂 12月
- 柚木 たまみ ■コンサートwith千鶴子vol.12(院内コンサート) 蘇生会総合病院 5月
- 京都日仏協会総会記念フランス歌曲コンサート アンスティチュ・フランセ関西=京都稲畑ホール 6月
- 京とりこコンサートin生駒 アトリエアルティカ 6月
- 六人展～送り火に寄せるうたとピアノの饗宴～ 京都コンサートホール 8月
- 夢見る女たち 影絵と朗読で聴くフランス歌曲 天満協会 8月
- 第4回城巽地区敬老の日コンサート 京都市立京都堀川音楽高等学校 9月
- 第11回音楽サロン Salon de sixカフェーくさろん 9月
- レクチャーコンサート 楽園と庭 アンスティチュ・フランセ関西 10月
- 第6回メサイアチャリティーコンサート 京都市立京都堀川音楽高等学校ホール 11月
- 京都市ふしみ学園 新年を祝う会コンサート ふしみ学園 1月
- 深尾 秀一 ■「対自2016」BIWAKO大賞展 滋賀県立近代美術館 4月
- 「胎動」第42回造形展 滋賀県立近代美術館 3月

6) その他の発表

- 佐藤 尚武 ■(共)睡眠健康指導士上級講座テキスト 日本睡眠教育機構 7月,11月
- 手良村 昭子 ■シンポジウム(創造性と自己表現その光と影)「素材・表現・関係性」～レッジョ・エミリア市の幼児教育から学ぶ～ 立命館大学大阪いばらきキャンパスカンファレンスホール 9月
- 淡海文化講座 「地域の中のアート」～レッジョ・エミリア市に学ぶ～ 本学 10月
- 「乳幼児の保育とアートの未来」 大阪経済大学KEIDAギャラリー 3月
- 李 霞 ■『保育とカリキュラム』(2017年3月号)(1歳児の指導計画等) ぴかりのくに 3月
- 清水 たま子 ■(単)「カミッシュ」を用いた滋賀県および草津市の地域的、国際的PRの試み」 金城大学6月
- 「ゆるキャラ「たび丸」を活かした「カミッシュ」による草津市の国際的PRの試み」 ショッピングプラザアピア 12月

7) 国際的活動

- 中平 真由巳 ■ラムサールびわっこ大使 世界湖沼会議こども交流会 引率 インドネシア 11月
- 山本 剛史 ■エゴグラムを使ったバスケットボール指導のメンタルトレーニングについてアメリカの大学(Texas University at Alrington)のコーチ達との意見交換 テキサス 1月,2月

8) 社会的活動

- 佐藤 尚武 ■第37回睡眠健康指導士初級講座講師 ピアザ淡海 5月
- 第12回睡眠健康指導士上級講座講師 ピアザ淡海 7月
- 第13回睡眠健康指導士上級講座講師 LMJ東京研修センター-10月
- 第4回睡眠健康指導士上級更新講座講師 神戸臨床研究情報センター 11月
- 中平 真由巳 ■淡海文化講座「命をつなぐ保存食」～民族の知恵に学ぶ～ 本学 10月
- 平野幼稚園PTA「滋賀のごちそう」 平野公民館 11月
- 食文化記事 湖国の食 中日新聞 11月
- 図書館連携講座「魚と米の保存食 ふなずし」 1月 大津市堅田図書館
- 原 知子 ■平野幼稚園PTA会員研修会「どうする!? 夏場のお弁当―野菜を使っているどりUP」 平野市民センター 6月
- 平成28年度滋賀県家庭的保育推進事業(基礎研修) 本学 7月
- 甲賀市教育委員会家庭的保育基礎研修 12月 甲賀市役所
- 清水 まゆみ ■湖国の食(食文化記事)中日新聞 2月
- 近江美味しもの KBS京都ラジオ 2月

- 木下 友理子、中平 真由巳、岡田 香織 ■長等商店街日本酒の会 長等商店街ゆうゆうかん 4月
- 滋賀短フェア 道の駅竜王かがみの里 6月

- 木下 友理子、中平 真由巳、高橋 ひとみ、岡田 香織 ■滋賀短Kids 滋賀短期大学調理室 4.5.6.8.9.10.11.12.3月

- 岡田 香織、木下 友理子、中平 真由巳 ■すみれがーでん 親子おやつ教室 滋賀短期大学調理室 9月

- 荻田 純久 ■キンダーカウンセラー 洛東幼稚園 5,7,9,11,1,3月

- 手良村 昭子 ■保育内容研究会「5歳児の保育内容について」 近江八幡市八幡保育所 5月
- 近江八幡市内保育内容研究会「5歳児の保育内容―子どもへのかかわり方・環境構成」 近江八幡市八幡保育所 6月
- 第1回幼児造形研究大会びわこ集会(絵の具を使って) 滋賀短期大学附属幼稚園 7月
- 第40回幼児の造形教育六甲研修会(分科会・作品のみかた・考え方) 兵庫県民会館 8月

- 柚木 たまみ ■第2回兵庫・篠山とっておきの音楽祭 篠山城址周辺 9月
- 地域移動講座「音楽表現の可能性 音・声・リズム」 能登川第一幼稚園 10月
- 近江八幡市立保育所・幼稚園・こども園教育保育研究会 「子どもたちに表現の楽しさを伝えよう」 金田幼稚園 11月

- 北尾 岳夫 ■京都YMCAスキー専門委員 1年間 第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会 ジャイアントスラローム競技 滋賀県派遣選手団成年組監督

- 深尾 秀一 ■第1回幼児造形研究大会 びわこ集会 講師 滋賀短期大学附属幼稚園 7月
- 京都市私学幼稚園連盟 教育研究会 講師 洛陽幼稚園 9月
- 外国人児童教育支援活動グループ「日和」事務局長 大津市 通年

- 前川 頼子 ■平成28年度 滋賀県家庭的保育推進事業(基礎研修) 本学 7月,9月
- 親育ち支援事業「子どもの発達段階をふまえた家庭における親子のルールづくり」 大津市平野幼稚園 9月
- 大津市地域型保育事業 大津市市役所 11月
- 育児講座「今の時期に大切にしたいこと」 高島市立古賀保育園 11月

- 松木 宏史 ■大津市平野学区社会福祉協議会参与 大津市 通年
- 吹田市地域福祉推進委員会 副委員長 吹田市 通年
- 摂津市地域福祉推進協議会委員 摂津市 通年
- 大津市平野学区福祉委員研修会 講師 大津市 7月

- 北後 佐知子 ■社会福祉法人 田島童園 職員研修講師 テーマ「乳幼児期に必要な大人のかかわり」 児童養護施設田島童園 3月

- 松井 典子 ■親子ふれあい音楽広場～おんがくのおもちゃばこ～ 甲賀市家庭教育支援事業 甲南公民館 3月

- 浜崎 由紀 ■子育て支援「かるた等」滋賀短期大学附属幼稚園 5月
- 図書館連携講座「絵本と子育て」 大津市立和邇図書館 8月
- 絵本から学ぶ食育講座 京都府総合教育センター 9月
- パパ&ママのための読み語り講座 まちなか交流館ゆうゆうかん 3月

- 山本 剛史 ■日本体育協会公認スポーツ指導員養成講習会 講師 本学 11月
- 関西女子バスケットボール連盟 副理事長・競技部長

- 李 霞 ■「保育とカリキュラム」編集委員 ひかりのくに 3月
- 滋賀県教育委員会高大連携講座 講師 8月

- 高橋 ひとみ ■滋賀医科大学との共催講座 7月 本学 「しっかり食べて肥満予防～食物繊維でおなかスッキリ～」

- 小山内 幸治 ■全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員
- 京滋地区私立大学学長懇談会事務局長

- 堀池 喜八郎 ■東海・北陸地区 国立高等専門学校 係長級研修会講演「業務を考える上での健康について(自身の健康・部下の健康)」 鳥羽商船高等専門学校 9月
- 図書館連携講座「健康食品や栄養補助食品はほんとうに効くのか」 大津市立和邇図書館 9月

- 江見 和明 ■日本消費経済学会 監事
- 「まちなか交流館 ゆうゆうかん」との連携、「ゆうゆうかんPRESS」の編集に協力 7月～

- 金澤 雄介 ■関西言語学会 編集委員 関西言語学会 4月～

この紹介は、本人の報告書から作成いたしました。

図書館だより

新入生の皆さん、大学生活には慣れましたでしょうか。
 本学図書館は、皆さんの授業や研究をサポートする図書や雑誌を収集し、提供しています。参考調査も行っており、皆さんが必要な情報を収集するお手伝いもします。ぜひ、図書館をご利用ください。

また、授業の合間に図書を読んだり映画を観たりインターネットなどを利用したり、といった娯楽やWord・Excelでのレポート作成にも図書館をご利用ください。

図書館は皆さんの身近な場所でありたいと思っています。そしてその中で皆さんが良い本に出会え、学生生活で良い思い出になるよう願っております。

最後に新入生の皆さんにお薦めの図書を紹介します。



大学1年生のための日本語技法

長尾佳代子、村上昌孝編著
 ナカニシヤ出版



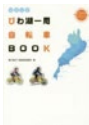
キャリアデザイン入門

菊池信一 著
 株式会社光生館



就職に成功する小論文800字攻略法

土屋書店編集部編
 株式会社つちや書店



ビワイチ公式ガイドちづたび

びわ湖一周自転車BOOK
 輪の国びわ湖推進協議会編著
 株式会社西日本出版社



「琵琶湖」の絶景を望む近江の山歩き16選

竹内康之著
 株式会社淡交社

公開講座について

平成29年度の公開講座について、下記のとおりお知らせいたします。また、すみれキャリア講座及びこども講座についても開催いたしますので、詳しくは下記までお問合せください。

滋賀短期大学 地域連携教育研究センター

☎077-524-3605

滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座

■日 程:平成29年8月5日(土) ■場 所:滋賀短期大学

■テーマ:腸内細菌と健康

講演の部【100名】

時 間:午前9時30分～午前11時20分

「腸内細菌と健康の関わり」

滋賀医科大学医学部 消化器内科 教授 安藤 朗 氏

「腸内環境を食事から考える」

滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部 管理栄養士 井上 真衣 氏

調理実習の部【30名 ※講演の部受講者のみ受講可】

時間:午前11時30分～午後3時

「腸内から健康を作る食事～食物繊維と発酵食品～」

滋賀短期大学 生活学科 講師 高橋 ひとみ 氏

滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部 主任栄養士 大井 彰子 氏

淡海文化講座

(滋賀短期大学3号館 SUMIREホール(311教室))

■開催日:平成29年9月30日(土).....

「食品の機能性 ～食生活と健康～」

滋賀短期大学 生活学科 教授 清水 まゆみ

「『よい子』、『よい人』という生き方 ～過剰適応の観点から～」

滋賀短期大学 幼児教育保育学科 教授 荻田 純久

「日越交流小史 ～近江商人と安南貿易～」

滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション学科 特任助教 伊澤 亮介

■開催日:平成29年11月25日(土).....

「納得できる人生を！ ～がん患者と共に歩んで～」

市立長浜病院 がん対策推進室管理官 兼 放射線治療センター長 伏木 雅人 氏

人事異動

退職

(平成29年3月31日付)

教授 木 谷 康 子
 教授 山 本 剛 史
 特任教授 清 水 た ま 子
 特任助教 久 保 覚 司
 特任助手 入 江 晴 香
 特任准教授(非) 戸 田 賀 志 子
 特任准教授(非) 安 井 恵 子
 事務局長 福 地 茂
 教務課長 高 田 伸 子
 嘱託職員 西 村 か お る
 非常勤職員 砂 原 知 尋

採用

(平成29年4月1日付)

教授 沖 山 圭 子
 准教授 久 米 央 也
 准教授 若 生 眞 理 子
 助教 灰 藤 友 理 子 (特任助手)
 助教 浜 崎 由 紀 (特任助教)
 助教 松 井 典 子 (特任助教)
 特任助手 池 之 内 愛 子
 特任助手 豊 岡 真 莉
 事務局長 浅 見 義 典
 主事 高 橋 英 司
 嘱託職員 松 野 千 絵
 非常勤職員 金 子 久 美
 非常勤職員 山 川 紀 美

昇任

(平成29年4月1日付)

教授 北 尾 岳 夫 (准教授)
 教授 深 尾 秀 一 (准教授)
 准教授 金 澤 雄 介 (講師)
 講師 高 橋 ひ と み (助教)
 入試広報課長 三 好 隆 之 (課長補佐)
 学生支援係長 田 中 知 恵 子 (主任)

配置換え等

(平成29年4月1日付)

総務課長 吉 田 英 史 (入試広報課長)
 兼図書館室長
 教務課長心得 中 村 治 重 (総務課長心得
 兼図書館室長)

訃 報

船越 晴美名誉教授

(昭和59年4月1日～平成12年3月31日)
 平成28年8月19日 ご逝去されました。

高橋 恒治名誉教授

(昭和55年4月2日～昭和62年3月31日)
 平成29年2月3日 ご逝去されました。

ここに、謹んでお悔やみ申し上げ、追悼の意を表します。

寄付報告

□滋賀短期大学教育研究充実基金へのご寄付(平成28年10月18日から平成29年4月27日まで)
 進藤 さよ子 様 青木 修明 様 山本 剛史 様 以上3名(順不同)

□平成28年度卒業生からの卒業記念品

玄関前校名横断幕、横断幕照明、釜戸ベンチ3台、大型ストープ2台

□その他ご寄付

山中電工株式会社 様

西村 敬子 様

滋賀短期大学後援会 様

玄関前LED街路灯1灯

絵画1画「栄光栄華」(すみれホール入口に展示)

ファンヒーター2台、石油ストープ5台

ここに寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。